

第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) フクオカダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) タザイ
福岡大学	商学部	太宰ゼミナール

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ)	フリガナ)	
企業分析	西田 侑香里	5

研究テーマ（発表タイトル）

Google Analytics の利活用計画！

1. 研究概要（目的・狙いなど）

本プロジェクトは、「Google Analytics の利活用・推進」が目的である。

Google Analytics(GA)とは、Google が提供している無料のアクセス解析であり Web サービス部門の人気 No.1 ツールである。しかし、企業にヒアリングした結果、GA を利用している企業の中で課題解決のために活用できていないという意見が多かった。そこで私たちは、現在利用している企業により一層 GA を使いこなしてもらうための方法を提案する。この提案が実現されることによって、GA の利活用が推進されることはもちろんのこと、さらなる Google Academy の認知の拡大を図ることが狙いである。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在、スマートフォンの普及により、ネットで買い物をする消費者が増え、私たちの生活にも EC（ネット通信販売）が深く関係するようになった。例えば、以前は直接店舗で購買行動を行うことが当たり前だったが、今では洋服から食品まで多岐にわたってネットで購入することが浸透している。私たちは EC サイトを利用したときに、過去に購入したものと関連した商品が「おすすめ」欄に提示されたことや、セールや新作が出たことのパナー広告をタイミングよく通知される経験があった。このように EC サイトを管理している人は分析をどのように行っているのだろうかという疑問を感じた。そこで分析ツールを調べた際に、有料と無料のツールを見つけたが私たちは Google が無料で提供する Google Analytics に着目した。

3. 研究テーマの課題

GA は企業にとって「使い方がわからない」「学習方法がわからない」というのが現状であると調査によってわかった。この GA の利活用できていない状況を改善することが課題である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

学習方法を見直し、参考書や個人ブログではなく Google が提供している Google Academy の改善案を Google に提案する。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- ・Google Analytics の学習、セミナー参加(2018/4/1~5/31)
- ・4 社の企業に訪問、（ヒアリング・分析リスト提案・実践）、セミナー参加(2018/6/1~8/22)
- ・Google へ提案(2018/8/27)
- ・1 社の企業に訪問、ヒアリング・分析リスト提案・実践（2018/9/1~10/31）

6. 結果や今後の取り組み

企業訪問の結果、福岡の中小企業は、GA を完璧に使いこなせていなかった。ヒアリング企業で行った結果として共通していたことは、勉強方法がわからないということである。特に Google Academy が分かりづらいという意見が多かった。そこで、Google Academy の改善を行うとともに、忙しい企業の方にも簡単に GA を活用してもらえよう学習環境を整える。また、GA 利活用に役立ててもらえるように、企業訪問やヒアリングで得た GA に対する生の声をまとめ、Google の今井さんに報告する。

7. 参考文献

<書籍>

- ・山野勉（2017）Google アナリティクス のやさしい教科書 手を動かしながら学ぶアクセス解析の基本と実践ポイント，エムティエヌコーポレーション。
- ・湊川あい（2018）わかばちゃんと学ぶ Google アナリティクス<アクセス解析・Web マーケティング入門>，シーアンドアール研究所。
- ・いちしま泰樹（2014）Google アナリティクス 実践 Web サイト分析入門 ユニバーサルアナリティクス対応 Web 担当者が身につけておくべき新・100 の法則，インプレス。
- ・木田和廣（2017）できる逆引き Google アナリティクス 増補改訂 2 版 Web 解析の現場で使える実践ワザ 260 Google タグマネージャ/オプティマイズ/データスタジオ対応（できる逆引きシリーズ），インプレス。

<個人ブログ>

<https://bit.ly/2DypPDI> 等（2018 年 4 月以降に随時アクセス）

<動画>

- ・Google アナリティクスを使いこなそう！基本的な使い方（解析方法）をマスター！
<https://youtu.be/6-gh9vatZNU> 等（2018 年 4 月以降に随時アクセス）

<グラフ>

- ・（出典）Markezine より <https://markezine.jp/article/detail/26983> （9/22）
- ・（出典）総務省「通信利用動向調査」
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc262120.html>(9/26)
- ・（出典）総務省「家計消費状況調査」
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc112320.html>(9/26)

● パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例、商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

【企画シート作成上の注意】※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版權の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。